

学校適正規模・適正配置の 現状について

第1回総合教育会議
令和7年5月19日（月）

学校適正規模・適正配置の現状について（学級数・小学校）

令和7年5月16日時点版

印西市／印西市教育委員会

地理的な利便性や強固な地盤と質の高い都市環境を背景に、千葉ニュータウン地域の集中的な開発が行われ、毎年度新たに子育て世帯の流入があり、小学校及び中学校の学校規模の差が広がっています。

【小学校】

令和7年度

令和13年度（予測）

大規模校	25～30学級	小倉台小（30）		原小（28） (仮称)東の原義務教育学校（27）
	31学級以上	原小（37） 牧の原小（33）		牧の原小（37）
適正規模校	12～24学級	内野小（21） 木刈小（16） 小林小（12） 滝野小（21） 高花小（14） 原山小（12） 西の原小（20）いには野小（13）		小倉台小（23） 西の原小（15） 大森小（12） 内野小（17） 高花小（14） 滝野小（17） 木下小（12）
	7～11学級	木下小（10）		木刈小（10） いには野小（8） 小林小（9）
小規模校	6学級	大森小（6） 六合小（6） 本埜小（6） 小林北小（6） 平賀小（6）		船穂小（6） 原山小（6） 本埜小（6） 小林北小（6） 六合小（6）
	5学級以下	船穂小（5）①		平賀小（4）②

※（ ）内の数字は通常学級数、○内の数字は複式学級数を示す。

※ 令和13年度の学級数は学区外就学者数を加味していない。

学校適正規模・適正配置の現状について（学級数・中学校）

令和7年5月16日時点版

印西市／印西市教育委員会

地理的な利便性や強固な地盤と質の高い都市環境を背景に、千葉ニュータウン地域の集中的な開発が行われ、毎年度新たに子育て世帯の流入があり、小学校及び中学校の学校規模の差が広がっています。

【中学校】

令和7年度

令和13年度（予測）

大規模校		25～30学級			西の原中（28）	
	過大	31学級以上				
適正規模校		12～24学級	木刈中（23）	滝野中（13）	木刈中（21） 原山中（14） 滝野中（13） (仮称)東の原義務教育学校（13）	
			西の原中（20）			
小規模校		7～11学級	原山中（10）		船穂中（8）	
			印旛中（9）		印旛中（7）	
		6学級	印西中（6）	小林中（6）	印西中（6）	
			船穂中（6）		小林中（6）	
	過小	5学級以下	本埜中（3）		本埜中（3）	

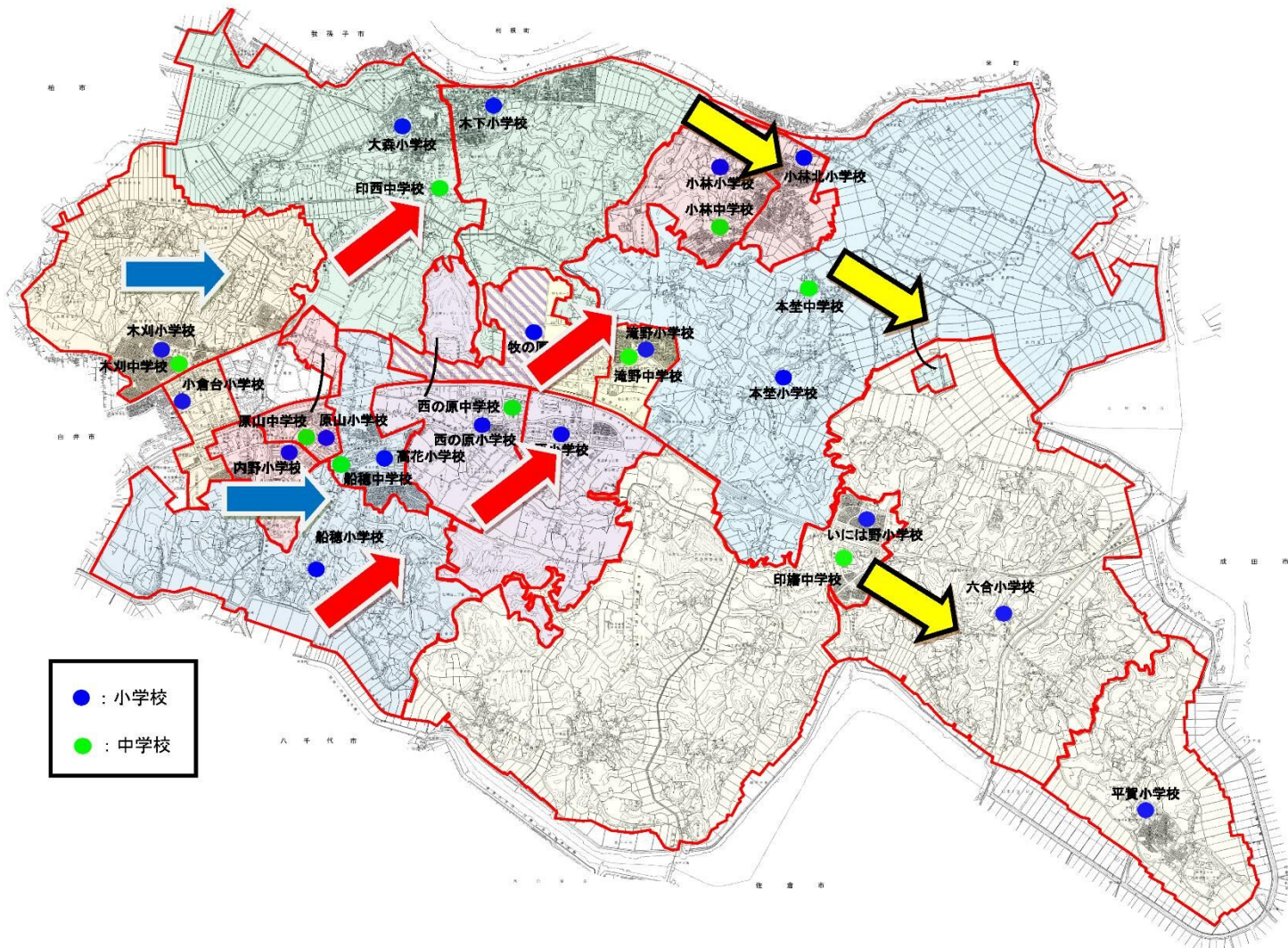
※ 令和13年度の学級数は学区外就学者数を加味していない。

学校適正規模・適正配置の現状について（児童・生徒数）

令和7年5月16日時点版

印西市／印西市教育委員会

地理的な利便性や強固な地盤と質の高い都市環境を背景に、千葉ニュータウン地域の集中的な開発が行われ、毎年度新たに子育て世帯の流入があり、小学校及び中学校の学校規模の差が広がっています。



中学校区	R7(人)	R13(人)	増減(%)
印西	600	735	22.5
船穂	658	731	11.1
木刈	2,323	2,197	▲5.4
小林	606	463	▲23.6
原山	1,292	1,206	▲6.7
西の原	2,660	3,513	32.1
印旛	847	505	▲40.4
本埜	103	85	▲17.5
滝野	2,183	2,611	19.6

※矢印の向きは、令和7年度と令和13年度の児童・生徒数の合計を比較し10%以上の増減を示す。